

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームゆう

(ユニット名) あんず

記入者(管理者)  
氏名 二神 和美

評価完了日 平成 20 年 7 月 23 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			グループホームに関わる法令の意義を理解しており、自らのホームの運営上の方針や目標等に具体化している。「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」の理念に基づいたケアを実施している。		
			(外部評価)		
			利用者個々が、「その人らしい生活」を地域の中で送ることができるよう、理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			すべての職員がホームの理念を述べることができ、常に運営理念の実施に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			毎月のミーティング時、理念に沿った支援ができているか、話し合っておられる。又、言葉遣いや態度についても、職員同士で確認をされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議等において運営理念の啓発、理解に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣の住民も訪ねやすいようフェンスをしていない。近隣の方が庭で作ったお花を持って来て下さったり、散歩時は気軽に挨拶声掛けを行っている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 敬老行事、地区・小学校運動会、小学生の交流授業等、交流を深めている。  (外部評価) 散歩時に、ご近所の方と挨拶をされたり、お花を持ってきてくださる方もいる。ご近所の方が芋ほりに招待してくださることもある。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営者は町主催の認知症老人を抱える家族の会においての体験発表や、退職教師の会にて講演など地域において認知症の理解啓発に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全職員が自己評価を行いグループホームのあり方、役割を理解し、自身を振り返る機会としている。  (外部評価) 自己評価項目を職員で分けて取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し取り組んでおられ、利用者個々の興味のあることを探り、地域での習い事に参加できるよう、取り組みを進めておられる。		自己評価に取り組む際の職員の気付きは、ケアの質向上に向けて取り組む起点にもなり、サービス評価の仕組みをさらに活かして、今後の取り組みにつなげていけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			ご家族や利用者にも参加していただき意見を取り入れながらサービスの質の向上にいかしている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、事業所での生活の様子を報告され、それぞれの立場から意見を出してもらっている。		さらに、出席いただいた方々からいろいろな意見をいただけるよう、すすめ方の工夫が期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			保健福祉課や地域包括支援センター主催の講演会や勉強会に出席したり、ホームでの事故処理のアドバイスを受けたりしてサービスの質向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			町から講演依頼を受けて、運営者は、認知症ケアについて講演を行っておられる。利用者への支援についても、市と相談されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			事業所内で成年後見制度や地域福祉権利擁護事業を利用している。又ミーティングで勉強会を行っている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ミーティングで虐待について学んでいる。職員は身体虐待だけでなく精神面での虐待にも注意を払っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い利用者、家族共に理解、納得の上契約、解約を行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議等で利用者が参加し、意見を述べる場を設けている。又不満、苦情等があれば、その都度対応しサービス向上に努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月1回必ず、お便りや写真、金銭出納帳を送付している。家族面会時に職員の異動は報告紹介している。		
			(外部評価) 毎月の個別のお便りでは、事業所で行う行事のお知らせもされている。利用者の生活の様子が分かるようアルバムを作り、ご家族の来訪時に見ていただけるようにされている。		運営推進会議等、事業所で取り組んでいることについても、ご家族に伝えていかれてはどうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議等で家族の意見等をお聞きしている。又面会時等に、不満、苦情等があれば、お聞きして運営に反映させている。		
			(外部評価) 年1回、花見を兼ねて家族会を行い、ご家族同士で交流を深めておられる。又、さまざまなご意見をいただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			月1回のミーティング以外にも何か問題があれば、そのつど話し合いを行い早めに対応している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			利用者や家族の状況の変化に応じて、対応が出来るよう、職員と話し合い、勤務の調整、職員の確保に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			異動や離職は最小限に抑える努力をし利用者には混乱が起きないように配慮している。又、2ユニットは隣同士なので、利用者は自由に行き来していることから、全職員と顔馴染みになっている。		
			(外部評価)		
			日頃から職員、利用者ともにユニット間で交流されており、顔馴染みの関係となっている。又、新しく入った職員は、先輩職員の利用者へのかかわり方から学んでおられる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			研修会は可能な限り参加している。月1回のミーティングにおいても、テーマを決めて順番に研究発表を行っている。定期的な自己評価を行い、自分自身を見つめ直す機会をもっている。		
			(外部評価)		
			職員会議時、職員は交代で、利用者の持病について調べ発表され、全職員で利用者個々の病状や状態についての理解に努めておられる。又、外部研修に出席し、研修の内容を周知されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			鬼北町地域密着型サービス事業所連絡会に参加し意見交換を行っている。		
			(外部評価)		
			町内のグループホームの交流会が5月から始まり、情報や意見交換をされている。又、管理者・職員は、他の事業所で実習をされている。		今後、町内のグループホームの交流会に職員も参加できるように、すすめたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員個別の休憩時間があり心身のストレスの軽減に役立っている。悩みを抱え込まないよう親睦の場をつくりコミュニケーションを図っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の資格取得に向けた支援を行い、働きやすい環境づくりをしている。		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入所時に、本人の不安を取り除けるよう、希望をお聞きし信頼関係が築けるよう努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に家族との話し合いを持ち、詳しくアセスメントを行っている。又、何か問題があればそのつど話し合いを持って家族の意向にそえる努力を行っている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族、専門機関の意見を聞き、個々に合ったサービスの提供が行なえるよう努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気から徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用者と家族と一緒にホームを見学されたり、隣接するデイサービスを利用して、慣れて頂いたり工夫している。 (外部評価) 入居時には、職員が自宅にお迎えに行かれることもある。又、入居間もない頃は、ご家族に協力いただき、事業所に泊まっていたりすることもあった。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 個人を尊重し個々に合った支援を行いながら共に支えあって生活している。 (外部評価) 職員は、利用者の方から、お若い頃の体験談や生活の様子のお話を聞き、「ものを大切にすること」を学ばれた。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族には利用者の状況をお伝えし、共にご本人を支える為に相談等行っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族が気軽に訪問されたり、食事、外出、外泊など心とむひと時をすごされたりして、交流の機会を大切にしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 親しい友人との交流、宗教の会合への参加など、今までの生活が継続出来るよう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者の個性、障害を把握したうえで良い関係が築けるよう職員が支援している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 長期の入院が必要となり退所された利用者・家族に対して相談にのったり継続的に関わっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 本人、家族等より詳しいアセスメントを行いセンター方式にてその人らしい生活を支援できるよう取り組んでいる。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>職員は、利用者の日々の過ごし方を記録し、その中から個々の思いの把握に努めておられる。</p>		<p>今後も、利用者個々から得た情報を集め、職員で共有し、さらに、その人らしい暮らしを支えるための支援につなげていかれることが期待される。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 本人、家族、ケアマネージャー等により、アセスメントを行っている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 利用者一人ひとりの一日の過ごし方や、心身状態の把握を行い、残存機能の維持向上に努めている。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 毎月ミーティングで一人ひとりの状況を話し合い計画の評価見直しを行っている。利用者・ご家族の意見をお聞きし計画の見直しを行っている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>ご家族からの意見や希望を聞きながら、介護計画を立てておられる。遠方のご家族には、電話で意見を聞くようにされている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月ケアプランの評価と6ヶ月に1回の見直しを行っている。状況の変化に応じて介護計画書の検討・見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、6ヶ月ごとの見直しとされている。入居時や退院時等、状態変化に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子や、ケアの実施、結果、気づき等を個別記録に記入し、全職員で共有し介護計画に役立てている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者、ご家族の状況に応じて通院・外出時の送迎等行っている。		
			(外部評価)		
			以前から農作業されているご自身の畑に行かれて、作業をされる方も支援されている。収穫した野菜をご親戚の方にも送り、喜ばれている。墓参りに行かれたり、近所の理容院を利用する際にも同行されている。法人内の宅老所のデイサービスに遊びに行かれることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者の生活の安定や拡がりの為に周辺地域の協力を得て支援している。(夜間パトロール、消防訓練、ボランティア)		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 様々な関係機関と連携を取り、個々に適したサービスが提供できるよう家族と関係機関と話し合いをもっている。(デイサービス見学)		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の生活がより安定したものになるように地域包括支援センターと連携を取り合っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望によりかかりつけ医は、決定している。又、協力医もあり緊急時は即対応してもらえる。		
			(外部評価) ご家族が通院に同行される場合には、ご家族にご本人の状態を伝え、受診結果を報告してもらっている。医師と服薬についても相談しながら調整してもらっている。職員は、利用者の体調変化に気を付け、ガンの早期発見にもつながったような事例もある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症専門医を受診されている方もいる。主治医との連携を取り、診断や治療を受けている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 宅老所の看護職員が定期的に身体状況の観察を行っている。又訪問看護を利用する場合もある。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者の情報提供を行い、安心した入院生活、又早期退院へ向けての病院関係者との情報交換や相談に努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入所時、看取り指針の契約を行っている。本人、家族の意向に沿えるよう協力医の往診、訪問介護の支援を頂き終末期ケアに取り組んでいる。 (外部評価) ご家族、医師と連携を図り、看取りを行った事例がある。ご家族が事業所に泊り付き添われた。職員は、「利用者ご本人がどうしたいのか」「望むことは何か」を考えながら支援をされた。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人、家族の希望を尊重し、終末期のケアを医師、看護師、職員と連携を取りながら、今後の変化に備えて取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人が安心して生活できるよう出来る限りの情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの個性を尊重し、プライバシーの保護に努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者への排泄の誘導時には、周りにも配慮し、小声で声かけをされている。写真を公開する際には、ご家族の意見を聞いておられる。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自立に向けての支援を心がけている。なるべく職員は手を出さず、見守りながらさりげない支援を行っている。常に本人の意思を尊重している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>起床・就寝・食事時間等決まっていない。日中は、買い物や自宅の畑、散歩など本人の希望に沿って支援している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>毎日、午前中に隣の小学校の草引きをされる方がいる。昼食後は、居室で過ごされる方、外で過ごされる方が様子うかがえた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<p>(自己評価)</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>利用者の希望に合わせて、職員の送迎で馴染みの理美容院に行かれる。又、衣服の選択お化粧品等も自由にされている。</p>		
54	22	<p>(自己評価)</p> <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>「ここのご飯は美味しいよ。」「今日の食事美味しかったね。」と利用者は、話されていた。個々のペースで食事をされ、下膳、食器洗いを行っておられる様子がうかがえた。誕生日には、好きなものを献立に採り入れておられる。</p>	<p>畑で収穫した野菜を使い食事を一緒に作り楽しく食べている。片付けは利用者さんが中心にされている。出来ない部分を職員が援助している。</p>		
55		<p>(自己評価)</p> <p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>健康状態を把握しながら(糖尿病、高血圧の方がいる)利用者の好まれるものを支援している。</p>		
56		<p>(自己評価)</p> <p>気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や昼のオムツをはずしたり自立に向けた支援をしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			利用者一人一人に合わせ、職員が付き添いくつろいだ入浴が出来るように支援している。夕食後の入浴も出来るよう人員を増やし、時間体制を整えた。		
			(外部評価)		
			夜寝る前に、シャワーを浴びる方も支援されている。入浴の順番の希望も出される。ご自分でお風呂の準備をされて、入られる方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握し、昼間の過ごし方などを配慮し、安眠できるよう配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			個人に合った役割が自然と出来ており、利用者同士が助け合って生活している。楽しみを共有しながら個人の趣味など生きがいを感じながら生活している。		
			(外部評価)		
			庭木の剪定をしてくださる方や、ご自宅で聞かれていたカセットテープを持って来られ、演歌を聴いておられる方もいる。事業所の生活を機に、料理を始められた方もおられる。		今後、利用者の希望を聞きながら、地域で行われる書道や川柳の教室への参加も検討されている。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者が自分でお金を持つことの大切さを職員が分かっており、日常の金銭管理を本人が行なえるよう、利用者の力量や希望に応じて支援している。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			自宅の畑作りに出かけたり、買い物や郵便物を出しに行かれるなど、個人の希望を出来るだけ聞き入れるように努めている。		
			(外部評価)		
			ウサギの世話をされている方は、毎日、近所にえさを採りに行かれています。又、毎日、散歩をされている方もいる。利用者から行きたい所の希望を聞いて、職員で話し合い、実現できるよう取り組まれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			最近では50年ぶりに母校のイベントに参加されたり、ご家族と外食やお墓参りなど出かけられている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族や兄弟に電話をされたり、年賀状や手紙など送れるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			利用者の家族や、馴染みの人達が、いつでも気軽に来て頂けるように、お茶などお出しして、居心地良く過ごせるように配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  職員は、身体拘束を行わないという事を正しく認識しており、身体拘束の無いケアを実施している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  利用者が自由に出入りできるように、日中は施錠していない。天気の良い日はドアを開放し、一人で出掛ける傾向のある方等は、常に見守りをしている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  日中は施錠をしない。全職員安全確認、見守りには神経を使い、事故がおきないように努めている。夜間は定期的な見守りをやっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  危険な洗剤などの保管は、収納庫に鍵をかけ保管している。刃物等は、使用するときは付き添い見守りをやっている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  半年に1回、防災訓練、心肺蘇生法を学び、緊急時に備えている。ヒヤリハットを書き、事故防止に努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急法の講習を定期的に受け、緊急時の対処法を学んでいる。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 利用者や施設の状況を考慮し、夜間を想定した火災訓練の実施、グループホームすもも、宅老所職員への連絡、連携体制にて、避難、誘導等訓練している。 (外部評価) 法人内の宅老所とともに、夜間時の火災を想定した訓練を行われた。職員は、応援の呼び方やそれぞれの役割を確認された。		さらに、いざという時に備え、地域と協力し合えるような体制作りもすすめていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 転倒のリスクのある方は、杖か老人車、徘徊を繰り返す利用者には施設はせず、見守り強化で対応する旨の了解を頂いたり、個々によるさまざまなリスクを考慮し、家族と相談し対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々バイタル、食事摂取量・排泄のチェックを行ない、異変を見逃さないよう努めている。異常があれば看護師と連携を取り、指示を仰いでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は、利用者の使用する薬の目的や、副作用、用法や用量を確認し、医師の指示通りに服薬出来るよう支援し、症状の変化を観察している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給、食事内容、運動等、気を配っている。医師の指示により、緩下剤を服用している利用者もいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者に合わせた誘導や、見守りをし、歯磨き、入れ歯の手入れ、うがい等、口腔の清潔を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの食事摂取量を記録している。摂取量が少ない方は、家族と相談し栄養ゼリーで補っている。水分はいつでも飲めるようにオーナージャックを置いている。 (外部評価) 食材の柔らかさや大きさ、食事の味付けは薄めにする等、配慮されている。便秘の解消のため、センナ茶等も用いておられる。居室に水筒を準備されている方もあった。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザの予防接種を受けて感染予防に努めている。感染症の流行や対応策についての勉強会を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>使用した食器、用具等は、すぐに洗い衛生管理を行っている。魚は朝市場で仕入れたものを届けてもらいその日に食している。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関先は手作りのプランタ入れに、表札をかけ、季節の花々を飾っている。玄関横には皆でくつろげるようベンチを置いている。(小動物うさぎを飼っている)</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂、玄関先には利用者が花を生け、皆の心を和ませている。ソファ、畳、こたつ、ひのき風呂など利用者が居心地良く生活して頂ける工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>手作りの日めくりカレンダーや、季節の作品、利用者が詠んだ川柳や書道の作品、折り紙の作品が飾られていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様により、自由に好きな場所で生活出来ている。日の当たる窓際のソファ、居間のこたつ、外のベンチなど自由に過ごされている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅で使われていた家具(タンス・仏壇・こたつ)やなじみの小物などを持ってきて頂いている。安心して生活できるよう希望をお聞きして畳を敷いている。		
			(外部評価)		
			週1回、居室で、お花の先生から生け花を習っておられる方がいる。新聞を取っておられる方は、居室で毎日、新聞を読んでおられる。仏壇を持ちこまれている方は、訪問時、お経をあげておられた。折り紙で立体的な作品を作っておられる方も見受けられた。毎週、ご家族の方が食事を持って来られ、居室で娘さんと食事をされる方もいる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			外気との温度差に気をつけ、こまめに換気を行っている。共用部分と居室の冷暖房の調整にも気を使っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			玄関前、廊下、トイレ、風呂場に手すりを設置し、自立出来るよう支援している。玄関、ホーム内は、段差はなく、バリアフリーにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの心身の状況を全職員が把握したうえで、自立支援に向けてのケアに取り組んでいる。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑で野菜を作ったり、うさぎを飼ったり、又、ベンチを並べ利用者がくつろげる場となっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者のこれまでの生活歴、経験、出来事等を知りその人らしい暮らしを支えるために活かしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時・3時には、一緒にお茶をのみくつろいでいる。時間をみつけ、一人ひとりとの会話を心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支えている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は何事にも慌てず個人に合った支援を行っている。不安や訴えに対し、常に共感し受け入れる姿勢を示している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日散歩のお誘いしている。又、買い物ドライブに出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	心身の変化や異常発生時に、いつでも医師・看護師と連携をとっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」の理念の基、安心して暮らして頂けるように、サービス向上を目指している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の意見や希望を気軽に相談してもらえるような関係を築けるよう心掛け、努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者の親しい友人や知人の訪問や、近所の方が、お孫さんとの散歩がてら立ち寄られる。毎週生け花の先生が来られ習い事などされ生きがいになっている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ① 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている ③ 3 あまり増えていない ④ 4 全くいない	運営推進会議には、鬼北町の民生委員の方達の出席を頂き、グループホームへの認識や理解を示して頂いている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① ② ③ ④ ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	職員は熱意をもって生き生きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	帰宅願望のある利用者もおられるが、概ね自由で束縛の無い生活に満足されていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④ ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	利用者本位、尊厳保持を心掛けているので、評価はして頂いているのではないだろうか。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ お天気の良い日は、毎日散歩に出かけたり、畑仕事にと健康的な生活を送っている。畑で収穫した新鮮な野菜を食している。  
 ・ 隣接する小学校からは元気な子供の声、姿を見ることができ、交流を楽しみにされている。  
 ・ 理念「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」を目指し利用者が今までの生活が継続できるよう地域の方との交流や外出などを支援している。  
 ・ 職員は自己評価を行いサービスの質向上に努めている。